



SCOPH
Public Health

2012.09.21
利尻島ツアー
報告書

作成者 野村朝子

作成日 2012.09.25

利尻島ツアー

日時	2012.09.21
目的・対象	離島における地域医療について知る 地域医療ツアースタッフ
参加人数	2人
活動内容	北海道本島から船で約2時間のところにある離島の病院を訪ねて、離島における医療現場の実際を知る。 また病院の設備や規模などと人口などの関係を考える。 病院では事務長さんから病院の概要を伺い、看護師長さんから病院の現状と離島医療における大変さややりがいなどのお話を伺いました。その後病院の施設全体を見せていただきました。また今回は特別に離島の医療を担っているもう一つの部署である消防署の見学をさせていただきました。
自由記載欄 (感想、反省など)	いままで行かせていただいた病院はすべて大病院と陸続きでしたが、今回は離島ということでどんな違いがあるのだろうととても楽しみにしていました。実際お話を伺うと離島だからこそある厳しさが想像以上でした。緊急搬送で島の病院に運ばれてくる患者さんの容体を見て、ここでできることと搬送できるか否かをすぐに判断しなければいけないのはとても難しいことだと思います。またそのために病院の規模から行くとなくともしょうがない機械を維持しなければいけないという問題もあるのかとびっくりしました。人口の少ないところで利用者も多くはない中で、医療の質と経営を両立させる大変さは想像以上だと思います。さらに島では自治医科大学から医師が派遣されているとのことですが、長くても2年ほどで帰られてしまうそうで長くいてくれる医師を病院も住民も求めていることがわかりました。一方で患者さんとの距離はとても近く患者さん自身を見るということにやりがいを感じていらっしゃるとのことのお話も聞くことができました。地域医療ツアーではそのようなお話を聞くことが多いですが、反してくださった方が本当に楽しそうに熱弁していらっしゃる姿がとても印象的でした。今回は私の連絡がうまくいかず本当に短期間の見学になってし

	<p>まったのですが次回は研修でどうぞとお誘いいただいたので来期以降に再び伺いたいと思いました。反省点として、連絡がスムーズにいかなかったことがあげられます。訪問先の病院とは電話でのやり取りでしたが、直接話をするのは事前に確認できるメールとは違う難しさがありました。実施内容などもう少ししっかりとお話しできればよかったですと思います。これは今後の病院との連絡で生かしていきたいと思います。</p>
スタッフ	<p>活動責任者：野村朝子（北海道大学2年） 垂水政人（日本大学3年）</p>

*写真



利尻島

